

## 実績確認概要書

平成 29 年 2 月 27 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	介護老人保健施設における、空調設備へのインバーター制御機器導入による排出削減事業
プロジェクト番号	KC1120
排出削減事業者名	医療法人社団しただ
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社 (その他関連事業者名：株式会社環境経済リサーチ)
事業実施場所	介護老人保健施設いっぷく (住所：新潟県三条市長野 337 番地) 介護老人保健施設いっぷく 2 番館 (住所：新潟県三条市帯織 800 番地)
事業の概要	本事業は、介護老人保健施設いっぷく及び介護老人保健施設いっぷく2番館において、定格能力で送水を行っている既設の空調用冷温水及び冷却水ポンプに、インバーター制御機器を導入することにより、空調負荷に応じた送水ができるように制御することで、消費電力及びCO2排出量の削減を図るものである
排出削減量の計画	2011 年度 28tCO2 2012 年度 93tCO2 (国内クレジット制度事業実施期間合計 121tCO2 ) 2013 年度 101tCO2 2014 年度 100tCO2 2015 年度 101tCO2 2016～2018 年度 100tCO2/年 2019 年度 71tCO2 (J-クレジット制度事業実施期間合計 673 tCO2)  ※全電源 CO2 排出係数の場合 (参考値) 2011 年度 16tCO2

	2012年度 57tCO <sub>2</sub> (国内クレジット制度事業実施期間合計 73tCO <sub>2</sub> ) 2013～2014年度 100tCO <sub>2</sub> /年 2015年度 101tCO <sub>2</sub> 2016～2018年度 100tCO <sub>2</sub> /年 2019年度 71tCO <sub>2</sub> (J-クレジット制度事業実施期間合計 672 tCO <sub>2</sub> )
クレジット認証 期間	開始日 2011年12月1日 終了予定日 2019年11月30日
排出削減方法論	方法論番号 005「間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入」

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年11月30日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	394tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2016年11月30日)
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第3回目実績確認のため、該当なし。 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入したインバーター制御設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における運転時間、使用電力量の計測値等により確認した。 3) 期間中、介護老人保健施設いっぷくにおいてインバーター制御ポンプ2基が更新されたが、仕様等に変更は無く承認排出事業計画通りのモニタリングで妥当と確認した。
排出削減量が承認排出削減	1) モニタリング方法の確認

<p>方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>事業者への質問、インバーター制御設備による測定記録等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ポンプ稼働時間、ポンプ使用電力量のモニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 事業者への質問、インバーター制御設備による測定記録の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ポンプ稼働時間、ポンプ使用電力量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている排出係数等がJ-クレジット制度のモニタリング算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver2.6によるデータであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が移行期間内であること</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年11月30日までであり、排出削減量を算定した期間が2019年11月30日を超えていないことを確認した。</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

2015年11月に介護老人保健施設いっぶくの空調設備更新工事を実施した。更新機器の仕様・性能は既設と同等であり、バウンダリーの変更もなく、またベースライン排出量の算定において定格電力、稼働時間に影響なく、ベースライン排出量には影響しない。性能回復の効果は期待できるが、それを上回るものではなく妥当性の確認は不要と判断する。

## 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 182.8KL であることを確認した。

以上